

平成26年第2回横手市議会3月定例会 一般質問要旨

■ 一般質問の日程

平成26年3月5日（水）～7日（金） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	頁
5日	1	6番	遠藤忠裕 議員	1
	2	21番	高橋聖悟 議員	2
	3	19番	佐々木喜一 議員	3
	4	13番	本間利博 議員	4
6日	5	3番	立身万千子 議員	6
	6	7番	土田百合子 議員	7
	7	12番	奥山豊和 議員	9
	8	11番	加藤勝義 議員	10
7日	9	24番	齋藤光司 議員	11
	10	26番	佐々木誠 議員	13
	11	4番	齋藤勇 議員	14
	12	14番	菅原正志 議員	15

1. 【6番 遠藤 忠裕 議員】

1. 新横手市総合計画基本計画について

- 1) 合併時に策定された横手市総合計画基本計画が平成 27 年度で終了する。新たな総合計画基本計画策定に向けて、来年度以降動き出すものと思うが、市長の基本姿勢をお聞きする。
- 2) これから 10 年間の長い年月にかかわる計画と思う。その中で、少子高齢化が叫ばれて久しい。併せて人口減少が著しい。この状況をどう捉え、計画に取り入れる考えか。
- 3) 合併特例債の期限が 5 年間延長された。使用額上限枠の見直しをする考えはないか。また、償還額のピークの時期を変更する考えはないのか。

2. 市長の市政運営について

- 1) 県との機能合体をどう評価し、検証したのか。
- 2) 農林部、商工観光部を新設しようとするねらいは。

3. スポーツ立市よこてについて

- 1) スポーツ立市よこてとしてのメイン事業の一つとして仮称 横手シティマラソンを実施する考えはないのか。

2. 【21番 高橋 聖悟 議員】

1. 総合計画のあり方について

- 1) 現況の総合計画のあり方では、基本構想や基本計画の対象期間が市長の任期とズレがある。公約を抱え、新たな時代を描こうとする人が出てくるなかにおいてのズレでは、その意思、時代が即座に、明確に反映されない仕組みだ。今後は、市長任期と連動した総合計画のあり方が必要ではないか。

2. 観光振興について

- 1) 地域文化のデジタル化を推進しそれを観光振興につなげてはどうか。

3. 雪対策について

- 1) 横手地域の市街地の除雪対策について伺う。
- 2) 雪を使ってギネス世界記録に挑戦を。

4. 公共資産について

- 1) 財政と公共資産の均衡がとれていない。財政に見合った公共施設などのあり方を考えるべきだが、現況を見てどう思っているか。考えを伺う。

3. 【19番 佐々木 喜一 議員】

1. 農業政策を進める上での市長の考え方を問う

- 1) 横手市の農業の現状をどうみているか。
 - ① 近隣他県、他市と比べて横手市農業の特色は。

 - ② 米作中心となっていることについては。

- 2) 市長が目指す将来の横手市農業の姿は。
 - ① 作目の位置づけについて。

- 3) 目指す農業を具現化する方策について。
 - ① 作目とその販売は。

- 4) 商業との連携について。

4. 【13番 本間 利博 議員】

1. 安心して住みよいまちづくりについて

- 1) 雪対策の充実強化のための当初予算3億円増の使用目的について問う。
- 2) 現在、市で取り組んでいる雪対策のための消融雪について問う。

2. 教育の基本方針について

- 1) 学校教育の目的について。
- 2) 教師の資質向上のための方策について。
- 3) 学校における防災上安心安全な教育環境を整備する上で危機管理室との連携は。
- 4) 横手北中、横手北小通学路歩道整備の進捗について。

3. 観光振興施策について

- 1) 通年観光のツールとは。
- 2) 史跡を活用した地域振興とは。

4. 地域文化の振興について

- 1) 後三年合戦関連遺跡の調査並びに保存活用から「横手市歴史文化基本構想」とは。

5. 空き公共施設の利活用について

- 1) 後三年合戦関連施設等の方向性とは。

6. 地域価値創造構想策定事業について

- 1) 農業振興のための農産物の消費拡大と集客のための直売と既存施設の利活用の具体案は。

5. 【3番 立身 万千子 議員】

横手市の教育課題について

教育環境整備を進めるため、次の点について当局の考えを問う。

1. 就学援助の実態と市の課題について

- 1) 生活保護の基準が下げられたことで、全国的に準要保護児童・生徒の世帯が影響を受けている。市内の子ども達をめぐる状況はどうか。
- 2) 生徒会費、PTA会費に加え、部活動費への手立ては。

2. 特別支援教育の動向と今後の方針について

- 1) 横手市自立支援協議会「子ども部会」と就学サポートファイル「すこやか」を活用した成果と課題は。
- 2) いわゆるグレイゾーンの子ども達への手立てはどうか。

3. キャリア教育の位置付けについて

- 1) 文部科学省の事業に前向きに取り組む市教育委員会は評価できるが、職業に就く年齢になった若者が悩むことのないような手立てをどうとっていくか。

4. 学校給食をはじめとする食育について

- 1) 市長が意図する「食育」とはどのようなものか。
- 2) 安全・安心な食べ物を子ども達にどう提供するか。

6. 【7番 土田 百合子 議員】

1. 組織機構改革について

1) 横手庁舎の移転について。

昨年の12月定例議会一般質問の「これからの市政運営とまちづくり」について、「本庁の位置づけについては、横手庁舎へ市長室を移動し、地域局の位置づけについては、現状の体制を維持しつつも、地域局の機能の精査を行いスピーディで機能的な体制づくりを進めてまいります。」との答弁だった。今議会で、横手庁舎の移転についての緊急なお話を伺い、市民への周知がないまま議会中にもかかわらず、すでに横手地域局の移動の準備が始まっている。あまりに強行的で、市民目線からは理解しがたい状況にある。今一度、立ち止まり、市民の理解が得られる市政運営をすべきであると思う。市長の見解を伺う。

2) 市政運営について。

市政運営にあたり、市民の現場の声を吸い上げ集約し、議会との十分な議論の中で方向性を定めるべきであり、市長の判断だけで押し進めて大丈夫なのか。これからの市政運営の在り方について伺う。

2. 高齢化に伴う除雪について

1) 一人暮らし高齢者等雪下ろし雪寄せ支援事業の抱える課題について伺う。

2) 間口除雪については、雪寄せ作業を請け負う事業者が不足し、断られる現状である。建設業者との連携で除排雪ができるような仕組みづくりを検討すべきであると思うが、考えを伺う。

3. 静町上小屋幹線道路拡幅について

1) 「静町上小屋幹線」延長線上の農道を拡幅し市道にとの請願を、昨年9月定例議会に提出し、議会で採択されている。

平成27年度から農道周辺の基盤整備が行われる予定であり、「静町上小屋幹線道路」拡幅についての考えを伺う。

4. (仮称) 子ども安心カードについて

- 1) 平成 25 年 9 月定例議会において一般質問しており、前教育長より「前向きに作成の方向で考える」との答弁をいただいているが、その後どのような検討がなされたのか伺う。

7. 【12番 奥山 豊和 議員】

1. 雪対策について

- 1) 今冬の除雪対応の総括と次年度以降に向けての課題。
- 2) 財源の確保について。
特に、国に対しては具体的な要望をどのように行ったのか。
- 3) 雪を前向きに捉え、雪と共に生きる横手市の創造。
 - ① エネルギーとしての「雪」
 - ア) 再生可能エネルギーとしての雪氷熱利用に対する考え方
 - ② スポーツとしての「雪」
 - ア) 身近に雪のある当地域において、幼少期から雪と親しむ環境を積極的につくることで、ウインタースポーツで活躍する選手を育てていくことも必要ではないか。
 - イ) 屋外スポーツ施設の早期の除排雪について
 - ③ 観光資源としての「雪」
 - ア) シーズンを通じて雪に触れ合う環境を提供できないか。

2. 消費税率引き上げに伴う施策について

- 1) 引き上げ分の地方消費税収（社会保障財源化分）の使途。
（どのような形で市民に周知し、還元していくのか。）
- 2) 低所得者等への支援策について。

8. 【11番 加藤 勝義 議員】

1. 公共調達である公共工事の入札制度について

- 1) 横手市で実施している公共工事の入札方法である郵送による入札を、地方公共団体の調達について定める地方自治法による最も競争性・透明性・経済性等に基づき、ネット環境の整った現在、電子入札に移行する考えはないか伺う。
- 2) 市長の選挙政策理念である、地域経済を活性化するための一つである公共工事の調査基準価格の適正化や、地元企業の優先発注を進めることについての具体的対応を伺う。
- 3) 解体工事について、最低制限価格や低入札調査価格は設定されていない。1円でも落札できるこの状態についてどう思うか。

9. 【24番 齋藤 光司 議員】

1. 農林部の新設について

- 1) 市長の「農業が横手市の基幹産業である」という考えの理念と定義は何か伺う。
- 2) 農業を大事にしたいという気持ちは伝わってくるし、理解をするものだが、新しく農林部をつくることによって、平成25年度と比べて、人、物、予算、政策等具体的に何をどう変えて、何がどう変わるのか伺う。
- 3) 市としての目指す横手市農業の方向性として、専業農家数を増やすことに重きを置くか、市全体としての農業総生産額を上げることなのか、あるいは他の目標があるのか、目指す方向性によって政策としての取り組み方が変わる。明確な方向を伺う。
- 4) 市長の施政方針で示された「県内随一の複合産地としての取り組みをこれまで以上に推進していく」という公約の、これまで以上という部分の具体的に“これまで”という部分の現状分析と問題点をどう考えているのか。
また、“以上”という部分の今年度以後の政策は何なのか。また、具体的な事業とその目標は何か伺う。

2. 新たな水田農業対策について

- 1) 日本農政の大転換ともいえる国の米政策の見直し等について、市として、どのように情報を収集し、分析、解析をしてきたのか伺う。
- 2) 直接支払の10a 15,000円が来年度から半額になるだけで、市全体として6億5千万円の減収になると試算されている。
転作率が約4割という配分率とともに、種々の経営所得安定対策の交付金に変更されるわけだが、市全体として金額ベースで平成25年度と比較してどれ位の減収要因になるのか伺う。
- 3) 米の生産調整について。
5年後を目途に、国による数量調整配分の廃止を判断するということが決定されたわけだが、今まで地域に、周りに迷惑をかけない、ともに生きていくという一定のルールのもとに米作りを継続してきた。県内のある自治体のように自分勝手なルールのもとに、それが新たな価値の創造でもあるかのようにふるまわれると非常に憤りを感じる。
市長として、そのことに対しての考え方と、市として平成29年度までは生産調整順守

が当市での米施策の基本姿勢であることの確認を改めて伺う。

- 4) 経営所得安定対策について、市として理解、研究、手当てが万全か伺う。
 - ① 新規需要米について、農家が望めば誰でもが取り組める対応策が進められているか。
 - ② 多収性専用品種の種子の量的な確保ができているか。
 - ③ 飼料米については交付単価が 55,000 円から 105,000 円と倍の開きがある。栽培技術の研究普及をどうしていくか。
 - ④ 主食米と飼料米では特に殺虫農薬については使用法が 180 度違う。近年問題になっているカメ虫対策に市としてどう対応していくのか。
- 5) 新たな米施策の発表後、当地区での水田売買実践数、水田価格に変化があるか。また、見通しと影響をどう考えているか。
- 6) 農地集積においてここ数年出し手が飛躍的に増加することが予想される。受け手の確保の見通しは立っているか。担い手空白地域に対しての担い手育成対策をどう取っていくか伺う。

3. 日本型直接支払い制度の創設について

- 1) 農地、水、保全管理支払い交付金制度は現在、横手の農地面積において、面的にどれ位の面積をカバーしているのか。それは近隣市町村との比較の中で、どれ位の位置づけか。また、開始以来、金額ベースでどれ位の金額が地域に支払われてきたか伺う。また、結果としてこの制度に参加してきた集落と参加してこなかった集落との違いをどう考えているか。

市がこの事業をどのように評価、総括しているのか伺う。
- 2) 一部の集落がなぜ参加できなかったのか、個別ごとにその理由を把握しているか。

また、その理由の分析の結果、行政としての事業への勸奨支援策がどのように講じられてきたのか。結果としてどれ位の組織、面積を増やせたのか。
- 3) 新制度に現在の 86 組織が 100%移行できるのか。支援金額が変わるが、市として 100%取れたと仮定した場合、どれ位の額になるのか。

地域の経済対策のためにも、また、地域としての共助精神の醸成のためにも 100%取りに行かなければならない補助金と思う。そのための市としての気概と未参加集落を参加させるためのしかけづくりを伺う。

10.【26番 佐々木 誠 議員】

1. 再生可能エネルギーについて

- 1) 横手市の小水力発電への取り組みの現況について問う。
- 2) 真人水力発電所の再興の可能性について問う。

2. 雪に強い「街づくり」構想について

- 1) 冬期間の雪対策（流雪溝、消雪パイプ等の設置）を考えた宅地造成をし、住宅建設希望者をそこに誘導し、雪に強い街づくり構想を進めてはどうか。所見を伺う。

3. 老人クラブへの市のかかわりについて

- 1) 冬期間の老人クラブの活動は高齢者の運動不足の解消に大きな役割を果たしていると思う。高齢化社会の中で老人クラブ活動は益々重要視されるものと思う。老人クラブ活動の推進のため、どのようにかかわっていくのか問う。

11. 【4番 斎藤 勇 議員】

1. 市長の政治姿勢について

1) コメなどの農政改革について。

TPP前提に、家族農業を締め出し、誇りうる複合農業が壊れると思うが、市長はどう認識し、どう対応するのか。

2) 農林部設置について。

県農政部との関連で、特に農地中間管理機構の県と市の協調の要請はないか。
また、市長の施政方針の地域価値創造構想事業の意味あいと内容について。

3) 豪雪による果樹等被害への救済策について。

4年連続の中でも最大の被害のようだ。今回の基金の活用で農薬支援や未収益期間への支援が欠かせないのではないか。

2. 積雪時の地震への防災について

- 1) 県の防災計画も大きく見直しされ、市も検討中のようだが、東日本大震災の教訓をどう引き出し、どう生かすのか。これだけ異常気象の常態化にあって、早急な具体化が求められる。

12. 【14番 菅原 正志 議員】

1. No. 1の横手市行政を目指して

- 1) 好感度No. 1の接遇を目指して具体的な基本マニュアルの共有化と実践を図ってはどうか。
- 2) より効果をあげているレベルに合わせた事務を推進していくことについてどう考えるか。
- 3) 地域づくり協議会と地区会議を効率的に活用させるためにどのような取り組みをしていくのか伺う。
- 4) 各地域局改修をどのように進めるのか伺う。

2. スポーツ立市にふさわしい施策

- 1) 優秀な指導者をどう定着させるか。
- 2) 関係機関や団体と連携して一貫した選手育成をどのように図るのか。

平成26年3月定例会日程予定【会期24日間】

本会議

午前10時開会予定です・傍聴できます

- ◇2月24日（月）〔開会〕 施政方針説明 ほか
- ◇2月25日（火） 議案（新年度予算）審査
- ◇3月 4日（火） 会派代表質問
- ◆3月 5日（水） 一般質問
- ◆3月 6日（木） 一般質問
- ◆3月 7日（金） 一般質問 ほか
- ◇3月19日（水） 委員長報告 ほか 〔閉会〕

— 傍聴席は横手庁舎の7階です —

委員会

- ◇2月25日（火） 一般会計予算特別委員会
- ◇3月10日（月）～12日（水） 常任委員会
- ◇3月19日（水） 一般会計予算特別委員会

横手市

検索

横手市のホームページにあります、

議会

のコーナーをクリックしてください。

本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-0023 横手市中央町8番2号（横手市役所 横手庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

